

充実した教育活動

【自治力】の育成

- 「より良い生活を営む力」の育成に向け
当たり前前（あたりまえ）のことが当たり前前（あたりまえ）にできる
“個人”と“集団”の力を育てます。
- 学級経営**：ルールとリレーションのある自慢できる学級集団を目指します。
- ・ほめることで高い価値観を伝え続けます。
- ・自分達で考え、実行する力を育てます。
- 特別活動**：特別活動を充実させ、「自治的活動」を活性化します。
- ・学級会活動や係活動の充実を図ります。
- ・児童会活動や学校行事を通して、学校全体を視野に入れた自治力を育てます。

【学力】の育成

- 「学びに向かう力」の育成を目指し、
「学ぶ力」と「学んだ力」を育てます。
- 授業改善**：「学ぶ力」の育成に向け、わくわくするような楽しい授業を目指します。
- ・子供の声でつくる楽しい算数授業を目指します。
- 基礎学力**：「学んだ力」の育成に向け、基礎的な学力の向上を図ります。
- ・漢字会・計算会を活用して、基礎的な技能と計画的に家庭学習をする力を高めます。
- ・ＴＴ、少人数指導、にこサポ、支援員等により、個別の支援の充実を図ります。

【体力】の育成

- 「頑張る力、やりきる力」の育成を目指し、
「心と体の両面の安定と充実」を図ります。
- 児童理解**：「心の安定」を図り、学校や社会生活を前向きな気持ちで営めるよう、四つの視点をもって【深い児童理解】を進めます。
- 生活習慣**：「充実した心と体」を育てるために、基本的生活習慣の確立を図ります。
- ・メディアコントロールの取り組みを通して生活リズムについての意識を高めます。
- ・人間関係づくりの基本である、あいさつや返事の習慣化に取り組みます。



【学校教育目標】

“みらい”を生きる力の育成

予想が難しい未来を「生きる力」を育てます。
「みらいを生きる力」を**自治力**・**学力**・**体力**の3点でとらえ、児童につけたい力に設定しています。

令和4年度
ブランド
デザイン

Mission

夢中になれる学級をつくろう！

Vision1: 夢中になれるムードをつくろう！

- 「ルール」と「リレーション」「常識・良識・仲間意識」
- 当たり前前（あたりまえ）のことを当たり前前（あたりまえ）にしよう！
- 【自治力・学級経営】【体力・生活習慣】【充実感】
- 「ほっ♡」とできる仲間意識を育もう！
- 【自治力・学級経営】【体力・児童理解】【安心感】

Vision2: 夢中になれるシーンをつくろう！

- 「よしっ!」と思える学級・学年・学校の自慢を作ろう！
- 【自治力・学級経営・特別活動】【充実感】
- 「わくわく」するような楽しい授業をしよう！
- 【自治力・学級経営】【学力・授業改善】【期待感】
- 目指せ！子供の声でつくる楽しい算数授業!!



みんなが長浜小の運営者！

学校職員、保護者、地域の方、**児童**、**みんな**が自分のこととして考え、行動する。

【長浜小児童】

- 「私たちの長浜小」を私たちの力でよりよくするために、“私”を主語にして考えます。
- ・私はどう思うのか。私はどうしたいのか。
- ・私は何をするのか。私に何ができるのか。

【支える大人】保護者・地域・職員

- ひざをついて**子どもの目線**で
傾聴～うなづいて聴く
- ・受容的・共感的に聴くと子供の本当の願いが分かります。
- 任待**～任せて待つ
- ・自分達で考え、行動する力が育ちます。
- 讃嘆**～当たり前前（あたりまえ）を褒める
- ・良い価値を学び、意欲と自信が高まります。
- 高い位置から**大人の目線**で
俯瞰～最後は大人が頼り
- ・親は「木」の上に「立」って「見」る。我が子しか見えないと本当の支援はできません。
- ・子供は主観的な自分中心の世界にいます。だから大人の**客観的な目線が必要**です。

【長浜小職員】

- 「**厳しいけど好き!**」な教員を目指します。
- 凡事徹底
- ・当たり前前（あたりまえ）でないことを当たり前前（あたりまえ）にしない。
- ・当たり前前（あたりまえ）のことをしっかり評価する。
- 遊びの心
- ・笑いのない場では集中は続かない。
- ・緊張できない人はリラックスできない。
- ・目標は80点（心の余裕）

あたたかい教育環境

【深い児童理解】をもとに
自尊感情と自己有用感につながる三つの感覚を大切にします。
「**安心感**」：「ほっ♡」とできる安心感のある環境
「**期待感**」：「わくわく」する期待感のある学び
「**充実感**」：「よしっ!」と感じる充実感のある活動

【人権・同和教育】人権・同和教育を全教育活動の基底に据え【進路保障】に努めます。

- ◎ 一人一人の学びを保障します。
(人権としての教育)
- ◎ 一人一人が大切にされる環境づくりに努めます。(人権を通じての教育)
- ◎ 人権についての理解や人権感覚の育成に努めます。(人権についての教育)

【深い児童理解】実態の背景を理解する

- ◎ 四つの視点をもって、深い児童理解に努めます。
- 背景**…一人一人の生活背景の理解
- 必然性**…言動の必然性(要因)の理解
- 願い**…心の奥にある本当の願いの理解
- 当たり前前（あたりまえ）のよさ**…当たり前前（あたりまえ）のことが出来るよさの理解

【進路保障】

- 全ての子ども達の実態に目を向け、一人一人に未来を生きる力を育てます。
- 誰もが同じように教育を受ける権利を保障します。

【的確な実態把握】事実を事実として受けとめる

- ◎ 多様な方法での的確な実態把握に努めます。
- ・日常の観察(生活・学習) ・教育相談
- ・職員間の情報交換
- ・客観的な情報…個人の実態・集団の実態(学力調査等の分析)(Q&Aの有効活用)